

施策評価シート

1. 基本情報				対象年度 （ 28 年度）				
施策コード	541		施策名	経営資源を戦略的に配分				
将来像	5	都市格が高いまち（「しくみづくり」の分野）						
まちづくりの基本目標	54	経営資源を戦略的に配分						
主担当部	企画部		主担当課	企画課		係	企画調整担当	
担当者	今村 広司		役職	企画部長		内線	210	
関係課	秘書広報課	市史編さん室	総務課	産業振興課	教育総務課	郷土博物館	文書法制課	ほか

2. 施策の方向	
10年後の姿	長期的視野から行政経営が行われることで、清瀬の地域全体の魅力が高まり、人々は清瀬に住んでみたい、住み続けたいと思っています。
施策の方向性	1 市民ニーズに合った行政サービスを提供します
	2 ユニバーサルデザインを推進します
	3 シティプロモーションを推進します
	4 長期総合計画を適切に進行管理します

3. 構成事業の状況			(単位:千円)				
No.	事務事業名	実行計画	施策の方向性	担当課	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算
0102060102	監査委員活動事業		4	監査委員事務局	1,880	2,128	2,137
0102060103	監査委員事務局運営事業		4	監査委員事務局	18	14	40
0102010801	計画行財政推進事業	対象	4	企画課	855	7,984	5,429
0101010102	議会活動事業		1、4	議会事務局	213,250	228,925	228,034
0101010103	議会事務局運営事業		1、4	議会事務局	10,778	10,522	10,282
0110010203	事務局一般事務事業	対象	4	教育総務課	12,756	13,644	12,772
0104010212	健康センター運営協議会等運営事業		4	健康推進課	77	81	43
0103020802	児童センター施設維持管理事業	対象	3	児童センター	13,729	21,841	27,335
0102040102	選挙管理委員会活動事業		1	選挙管理委員会事務局	2,910	3,180	3,204
0102040103	選挙管理委員会事務局運営事業		1	選挙管理委員会事務局	52	62	64
0102040201	選挙啓発事業		1	選挙管理委員会事務局	189	189	189
0102010707	施設等営繕事業	対象	3	総務課	13,077	16,270	15,164
0102010404	広聴事業	対象	1	秘書広報課	220	558	2,244
0102010409	シティプロモーション推進事業	対象	3	秘書広報課	1,879	4,545	6,829
0102010305	オンブズパーソン制度等関係事業		1	文書法制課	138	150	147
0102050102	統計事務管理事業		4	文書法制課	64	62	94
0102050201	基幹統計調査事業		4	文書法制課	30,683	2,373	2,187
総事業費(施策の合計)					302,555	312,528	316,194

4. まちづくり指標										
指標情報						平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成31年度	平成37年度
①	名称	市政への市民満足度			目標値	—	—	60	60	70
	説明		単位	%	実績値	58.8	58.8			
	抽出方法	世論調査（平成26、29、32、35年度実施）			達成率	—	—			
②	名称	清瀬への愛着度（「清瀬市に愛着や誇りを感じている」割合）			目標値	—	—	65	65	70
	説明		単位	%	実績値	62.3	62.3			
	抽出方法	世論調査（平成26、29、32、35年度実施）			達成率	—	—			
③	名称	清瀬市に住み続けたい人の割合			目標値	—	—	70	70	70
	説明		単位	%	実績値	66	66			
	抽出方法	世論調査（平成26、29、32、35年度実施）			達成率	—	—			

施策評価シート

5. 評価(平成28年度実績に対する)

評価基準		評価※	評価理由
投入財源・成果 (「3. 構成事業の 状況」「4. まちづ くり指標」)に対す る評価	総合評価 (成果、投入財源等を 総合的に評価)	B	シティプロモーションの取り組みや、経営資源を戦略的に配分するしくみである施策評価は、平成28年度から本格的に着手したばかりである。メリハリある事業実施を図り、清瀬の魅力を高めつつ内外に発信する取り組みを推進することが必要である。現時点ではこれらの取り組みはスタートしたばかりで結果を出すまでにいたっていない。 ハードのまちづくりにおけるユニバーサルデザインの推進においては、公共施設のトイレの洋式化、歩道の設置等道路構造の改良を順次推進している。トイレについては洋式トイレの設置施設は9割となっている。また道路改良については、用地取得交渉の進捗、財源の制約があるものの、条件が整った箇所から順次整備を進めている。

※A 「10年後の姿」を達成するために、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の達成が十分
B 「10年後の姿」を達成するために、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」に一部課題がある
C 「10年後の姿」を達成するために、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の達成が不十分

6. 施策を取り巻く環境

外部要因	状況	外部要因に対する評価	評価理由
将来人口 の推移	10年後人口が約500人減り、その後も減少見込み。	3.施策の必要性を高める	市税収入等の確保のため流出を抑え、流入を増やす必要がある。
他自治体 との比較	シティプロモーションやブランディングに特化した部署を創設する自治体がみられる。	3.施策の必要性を高める	近隣市でも同様の組織化が見られる他、全国では、流入人口増加の効果をあげている自治体もあり、施策の必要性を高める影響力がある。
法・制度改正 の動向	障害者差別解消法の施行(平成28年4月)。	3.施策の必要性を高める 1.施策遂行に役立つ・有利	誰もが安心して簡単にまちを移動し、暮らし、情報をわかりやすい形で得ながら快適に生活するユニバーサルデザインの考えの必要性を高め、普及啓発にも寄与する。
技術革新 の動向	フェイスブックやツイッター、ブログ等の普及で誰もが情報の発信者になり得る。また、そうした口コミの影響力が大きい。	1.施策遂行に役立つ・有利	行政の広報活動を効果的に補完し得る。
その他	2020東京大会に向けたユニバーサルデザインの推進に係る東京都の補助制度が制度化されている。	1.施策遂行に役立つ・有利	特定財源を活用しながら施策推進を図ることが可能になる。

7. 今後の施策課題

No.	今後の施策課題(平成30年度に向けて)	左記課題に関する現在の取組状況
①	施策、事務事業の意図を明確にし、的確な成果指標を設定した上でPDCAサイクルを確立する必要がある。	平成28年度より導入した施策評価制度の改善を図りながら進めている。効果的に評価を実施できるよう、必要な指標の把握を進めている。
②	市民ニーズを的確にまちづくりに生かすことができていない。(市民委員等のメンバーの固定化、アンケート結果等の効果的活用の困難さ)	一般公募市民では応募者が固定化されるため、無作為抽出による委員募集を実施(平成26年度:みらいカフェ、平成27年度:まちづくりデザイン会議、平成28年度:外部評価委員会、平成29年度:外部評価市民会議)。3年に一度の世論調査を実施。
③	定住人口、交流人口を増やし、まちの活性化を図るには、シティプロモーションを推進し、市民に清瀬に対する愛着を持ってもらうこと、そして、清瀬の魅力を発信していく必要がある。	ひまわりの写真を入れた名刺の作成や、結核予防会と協働したブックカバーの作成など、清瀬の魅力を広く発信している。
④	新庁舎の建設をはじめ、公共施設の改修時には、ユニバーサルデザインの推進に努める必要がある。	新庁舎の建設にあたっては、障害者からの意見を聞くなど、実態に沿ったユニバーサルデザインの推進に努めている。